

群青

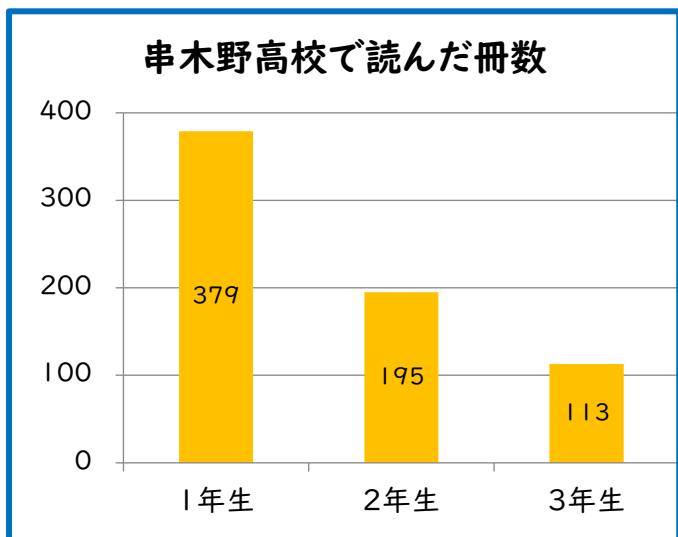


卒業記念号

串木野高等学校図書館
令和6年2月29日発行

ご卒業おめでとうございます。

高校生活は、あっという間だけど思い出深い3年間だったのではないのでしょうか……。4月からの新生活は、期待と不安が入り混じり緊張の連続だとは思いますが、これまでの友情や経験をいかして 挑戦・活躍されることを祈っています。自分らしく生き生きと楽しんでくださいね。



3年間で読んだ冊数 ベスト10

- | | |
|--------------|------|
| 1. 有馬 慎太郎 さん | 114冊 |
| 2. 南竹 舞耶 さん | 55冊 |
| 3. 飯山 蓮聖 さん | 44冊 |
| 4. 井上 萌 さん | 38冊 |
| 5. 中野 美翔 さん | 37冊 |
| 6. 古垣 夏実 さん | 29冊 |
| 7. 土川 楓 さん | 26冊 |
| 8. 内 望実 さん | 23冊 |
| 10. 入江 心 さん | 21冊 |
| 10. 寺坂 颯太 さん | 21冊 |

図書委員会より ささやかですが、お祝いのカードを贈ります！



図書館のご利用、ご協力
ありがとうございました。



西園事務長先生 おすすめの本

『ニングル』

倉本 聰



私のおすすめの一冊は…

2023年10月に新装版が発行された、倉本聰さんの「ニングル」です。



この本は1985年12月に初版が出ていて、38年ぶりに新装版が発行されています。このほかにも、人形作家の与勇輝さんの人形で綴られる「フォトストーリー ニングル」や、子ども向けに「ニングルの森」もあります。芸術分野では、すでに舞台化され今月オペラも上演されています。

そもそもニングルって何??

アイヌ語で「小さい人=こびと」を表します。（「コロボックル」とも違います。）

地球上のほとんどすべての生物が生きて行く上で、無くてはならない水はどこから来ているのでしょうか。特に日本は、水道をひねると飲料水を普通に飲むことができるので、私たちは普段あまり気付かないし、考えることが少ないですよ。

「ニングル」からのメッセージ、是非一度手にとって読んで考えてみませんか。

久保 直子先生より メッセージ

扉を開けて
久保 直子

私は今まで、いろいろな体験をしてきた。
ある時は難事件を解決する物理学者だった。
ある時は音楽の好きな心優しい死神だった。
ある時は腕利きの零戦のパイロットだった。
ある時は皇子を守る槍使いの用心棒だった。
ある時はドキドキし、
ある時はハラハラし、
ある時は理不尽な所行に腹を立て、
ある時はこの世の不条理に涙した。
読書はすばらしい。
どんな自分にだってなれる。
古代中国の虎になった男や、
平安朝の下人にだってなれるのだ。
そして本から得た教訓や考え方が、
いかに現実世界で役に立ったことだろう。
登場人物の熱い気持ちや勇気から、
どれほどのパワーをもらったことだろう。
さあ、生徒諸君よ。
時は来たれり。
読書という未知の扉を開けて、
今すぐ、本の世界へ旅立とう。

若い人たちが本を読まなくなったと言われて 久しくなります。

若い人たちが本を読まなくなったという年上の人たちの言葉は

若いときにこそ本を読むべきであったという 後悔の言葉でもあります。

あなたのみずみずしい感性、好奇心、柔軟な思考、

<若いとき>に読書をする事は、後の生き方に必ずや大きな実りをもたらします。

あなたが読書を日常のなにげない習慣にすれば、

思いもかけない幸せな「本との出会い」が、きっとやってくるにちがいありません。

読書推進運動協議会 「若い人に贈る読書のすすめ」リーフレットより

